



部活動の地域移行 実証事業

令和6年度の実証事業

総社市

01

本年度の取組

	当初予定	成果
運営団体 指導者	<ul style="list-style-type: none"> 地域クラブの認定要件の検討、認定実施 指導者資格の取得補助事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> そうじゃ地域クラブ許可制度要項の策定、運用開始 指導者2名についてJSP0公認コーチ1取得講習補助
活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 拠点校部活動参加制度の実施 地域クラブとして大会参加(スポーツ) コーラスで多世代交流型イベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点校部活動を実施、種目の拡充を検討 SOWAバスケットボールクラブが中体連主催大会参加 R6.11.2に「prayer」合唱イベントの後援
活動場所 用具	<ul style="list-style-type: none"> コーラス、吹奏楽の活動場所の検討 学校施設開放、公共施設の優先使用について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中に総合文化センターホール等を活用 優先使用については関係課と協議中
運営資金 参加費支援	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業、商工会議所との意見交換 経済的困窮世帯への支援の枠組み検討 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所と意見交換を実施し、現状を共有 経済的困窮世帯への支援は今後検討
参加対象 広報	<ul style="list-style-type: none"> 種目別の情報共有、意見交換(継続) 令和8年度の3年生引退後に休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行することを周知 	<ul style="list-style-type: none"> 学校部活動、学校施設開放の活用団体と意見交換実施 周知により教職員の意識が変化しつつある
生徒輸送	<ul style="list-style-type: none"> 合同での活動に貸切バスを運行(継続) 平日の地域クラブ活動参加に向けて移動手段の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 貸切バス45回運行(12月末現在) 平日の活動の移動手段は関係課と協議中

02 地域スポーツ・文化技術環境の把握

学校部活動の現状

設置している学校部活動	
運動部	文化部
陸上競技部	吹奏楽部
軟式野球	合唱部
サッカー部	美術部
ソフトテニス部	科学部
卓球部	和道部
バスケットボール部	ボランティア部
バレーボール部	
バドミントン部	
ハンドボール部	
剣道部	

団体・指導者のリソース

競技・分野名	団体名
関係団体	総社市剣道連盟
関係団体	総社市バスケットボール協会
関係団体	総社市卓球協会
関係団体	総社市サッカー協会
関係団体	総社市ハンドボール協会
関係団体	skym音楽財団
総合型地域SC	総スポねっと
総合型地域SC	きよねSC

競技・分野名	登録人数
剣道	13
ハンドボール	6
バスケットボール	5
バレーボール	5
卓球	4
陸上競技	3
軟式野球	2
ソフトテニス	2
バドミントン	1
吹奏楽	3
合唱	2
美術	1
合計	47

03 利用可能な活動場所の把握と確保

利用可能施設一覧

学校施設

総社東中学校 総社西中学校
総社中学校 昭和五つ星学園義務教育学校
総社市内小学校

スポーツ施設

総社市スポーツセンター 清音ふるさとふれあい広場

文化芸術施設

総社市文化センター 中央公民館
総社市勤労青少年ホーム

その他

岡山県立大学施設



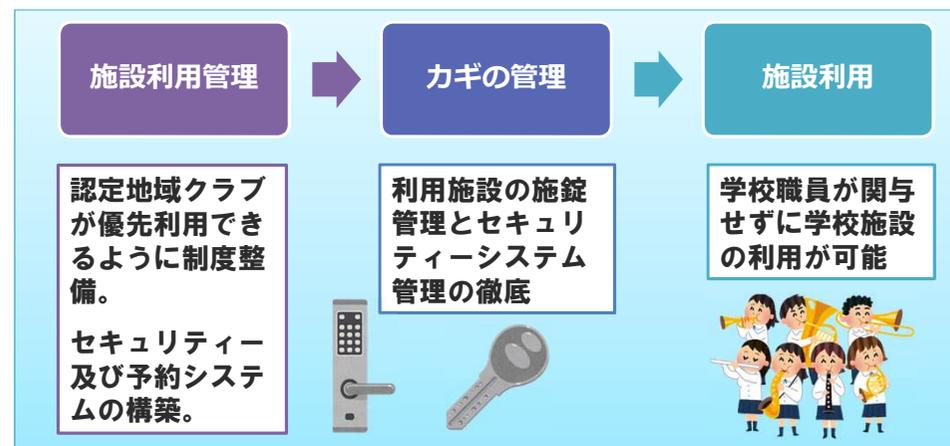
活動場所の確保

現状

【休日の学校施設利用】

市が運営している『そうじゃ地域クラブ』に所属しているクラブは、暫定的に学校部活動と同様の扱いで(部活動の地域連携の一環)施設を利用している。

将来的に



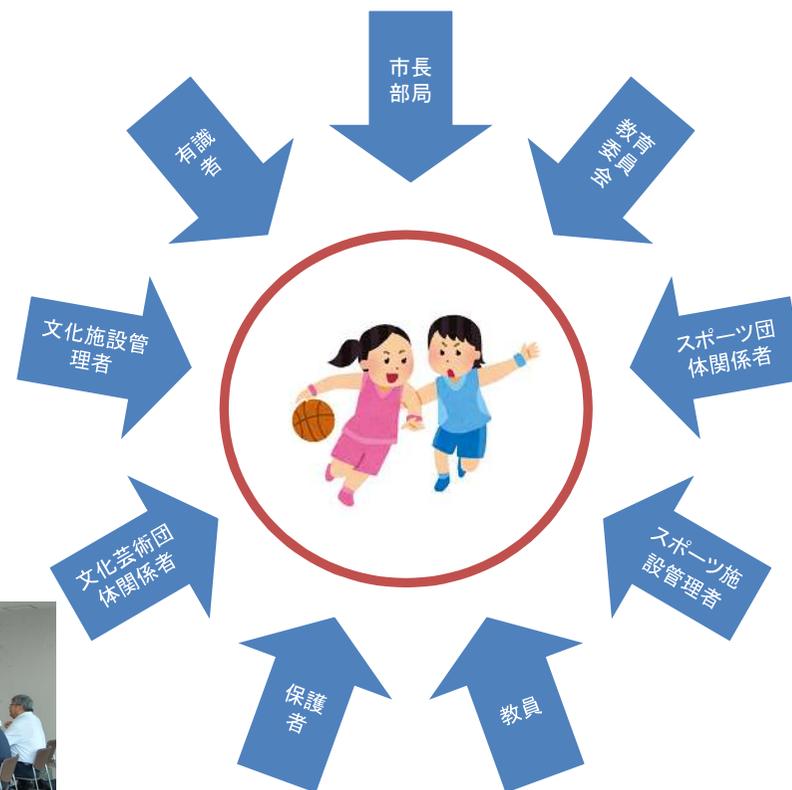
04

協議会の設立・開催

- 令和4年度 部活動地域移行準備委員会設置
令和4年9月に実施
11月に「こども議会」を開催。市長、教育長ほか市の幹部が代表生徒からの質疑を通して意見交換
- 令和5年度 総社市部活動地域移行推進協議会設置
推進協議会は年間4回実施
協議会前等に部会を実施
地域移行進捗部会、指導者部会、文化部会
- 令和6年度 総社市部活動地域移行推進協議会
推進協議会は年間3回実施予定
部会を変更
地域移行進捗部会
運動部会、文化部会



子どもを中心に考える推進協議会



05

移動手段の検討と確保

- 休日の地域クラブ及び合同部活動での移動手段確保
貸切バス(公費負担)



貸切バス運行について

総社中学校と昭和五つ星学園義務教育学校間の片道約15km

- ・行き ①7:45 西公民館 ⇒ 8:05 JA晴れの国岡山昭和支店
②8:10 JR美袋駅 ⇒ 8:30 西公民館
- ・帰り ①11:40 JA晴れの国岡山昭和支店 ⇒ 12:00 西公民館
②12:05 西公民館 ⇒ JR総社駅 ⇒ 12:35 JR美袋駅

- これにより休日の活動場所と活動時間を確保
昭和五つ星学園義務教育学校 ⇒ 8:20~11:20
総社中学校 ⇒ 8:40~11:40

- 拠点校部活動参加制度では各自で移動
平日(特に冬季)の活動時間確保が課題

06

新たな分野の開拓

07 準備状況に関する広報・連絡

○市の広報誌(広報そうじゃ)で周知



活動の地域移行を前に、現役の中学生と意見を交わすため、11月12日に「そうじゃ子ども議会」が開催されました。中学生議員として、総社中学校・総社東中学校・総社西中学校・昭和中学校の生徒19人が参加。議席の指定や会期の決定などが通常の市議会さながらに進行され、今後の部活動について、中学生議員と市長や教育長ら市幹部が議論を交わしました。

中学生議員から出された質問は、部活動が地域に移行された場合の活動内容や活動場所、指導者、大会に関することなど。主な質問・答弁の概要は次のとおりです。

今後はそうじゃ子ども議会の内容を踏まえ、学校関係者や地域のスポーツ・文化芸術団体と協議を行い、部活動の地域移行を進めていきます。

問い合わせ 学校教育課 ☎0866-92-8358

総社中学校

試合や大会について

地域移行後の試合やコンクールなどは、今までどおり開催されるのか。中国大会や全国大会などは、これまでどおり教員が運営するのか。

教員 今ある大会は当面継続するだろう。学校以外の地域チームが参加するなどの変更は予想される。主催者と話し合いを続けていく。

活動費用について

外部指導者に委託する場合、生徒の負担が増えないか不安がある。地域移行後、指導者の給料などはどのように支払うのか。

市側 生徒の負担は、できる限り少なくしたいと考えている。今後、市議会や関係者と協議し、具体的な方法を決めていきたい。

広報そうじゃ 2022.12.2

広報そうじゃ 令和4年度12月号
「そうじゃ子ども議会」



子どもたちが継続してスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保することや教員の長時間労働解消などを目的に、昨年度から議論を進めていた市内中学校の部活動地域移行について、今年度、新しい形での部活動を開始しました。

地域の人を休日の部活動の指導者として配置するため5月9日、地域部活動指導員3人を委嘱しました。地域部活動指導員は、平日と休日の指導内容を互いに補い生かしながら指導にあたります。

5月13日には、総社中学校と昭和中学校による合同部活動を開始。複数の学校による継続的な合同部活動は、市内で初の取り組みです。また、合同部活動の開始にあたり、総社中学校では男子バスケットボール部を、昭和中学校では女子バスケットボール部・野球部・卓球部・美術部・男子バレーボール部をそれぞれ新規。生徒の部活動の選択

！ある日の合同部活動！

昭和中の生徒がバスで総社中学校へ移動

地域部活動指導員の指導の下、練習に励む

9:00AM

10:30AM

11:45AM

あじさつをして運動終了。昭和中の生徒はバスで帰宅

総社中の生徒と合流し、活動開始

地域部活動指導員を募集中

が広がっています。今後、休日の活動は原則両校合同で行われ、活動場所までの移動には、市で借り上げたバスを利用。負担感を軽減するとともに、生徒が部活動に参加しやすい環境づくりにつなげていきます。

主な活動は、中学校部活動での技術指導や健全育成指導、大会への生徒の引率など。詳細は、市ホームページで確認できます。

市HP

広報そうじゃ 令和5年度6月号
「合同部活動開始」

○関係団体への周知と意見交換



総社市バスケットボール協会総会で説明 (R6.4.6)



総社市剣道連盟所属指導者へ指導者登録の説明 (R6.8.18)

08

ガバナンス組織の結成・指定

総社市そうじゃ地域クラブ許可制度(主なものを抜粋)

【許可要件】

- (1) 原則として総社市立中学校又は義務教育学校に在籍する生徒で編成されている団体であること。
- (7) 県や市が主催する指導者研修等を受講する役員または指導者が運営に携わること。
- (8) 学校部活動の教育的意義を継承・発展し、勝敗などに偏った指導にならないように努め、生徒の資質・能力の向上を主たる目的として活動すること。
- (11) 成長期にある生徒がバランスの取れた生活を送ることのできるよう「総社市学校部活動，地域クラブ活動の在り方に関する方針」(総社市教育委員会)に準じた活動日数及び活動時間を設定すること。
- (12) 生徒の発達段階や健康の状態，気温等の環境を考慮し，指導内容や練習時間，水分補給や休息時間等を設定すること。また，施設管理者と連携した用具や施設の点検，保護者や関係機関への緊急時の連絡体制の整備等を行うこと。地域クラブに関わる監督，指導者等すべての関係者が，リスク管理において責務を負っていることを自覚し，生徒の安全確保に万全を期すること。

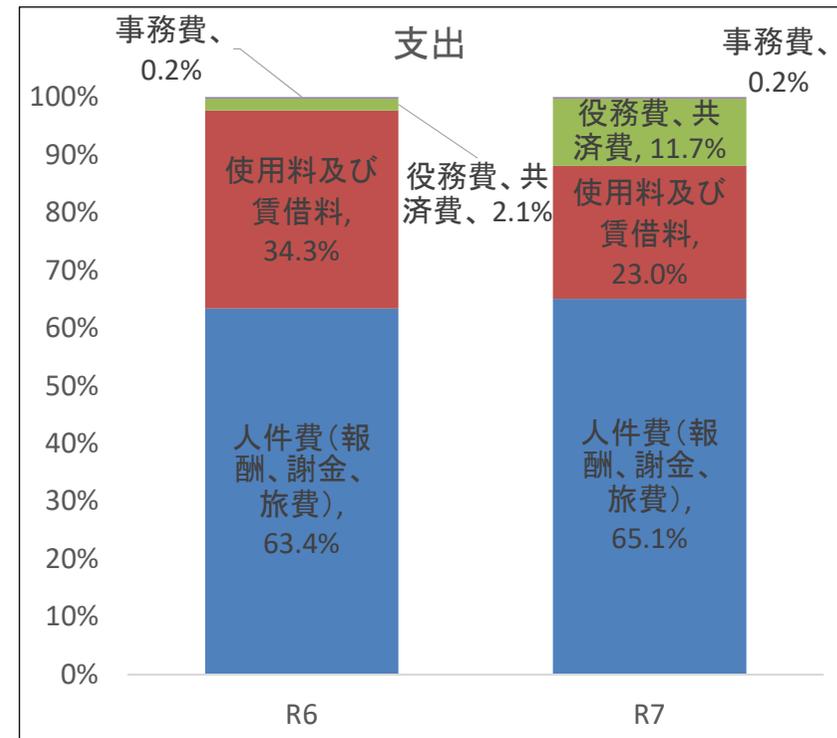
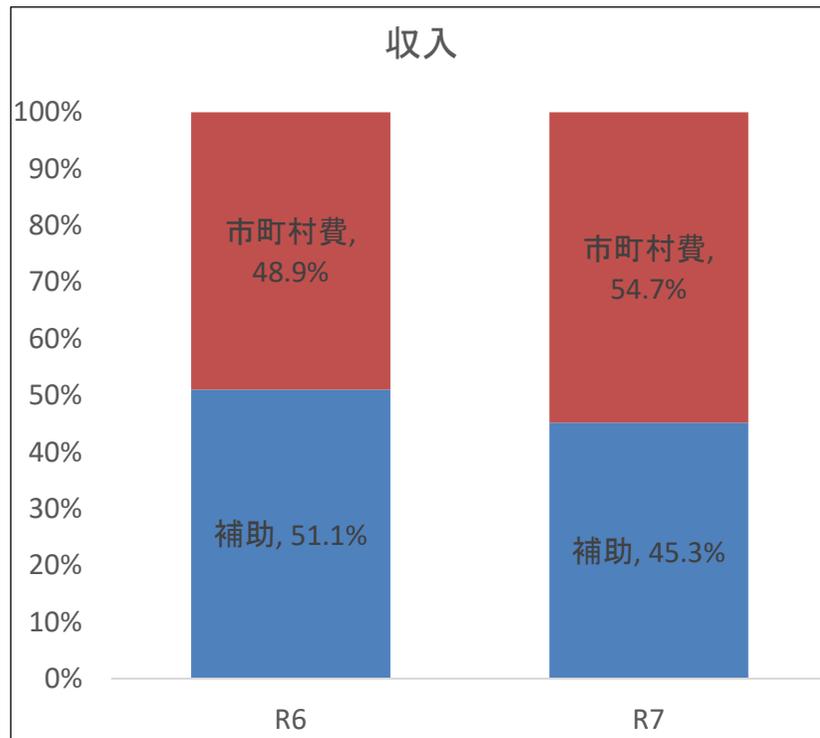
学習指導要領への記載は
どうなるのだろうか？



国が示す予定の
「地域クラブ活動」の定義？

10 運営資金の調達・活用の検討・確保

令和6・7年度の収支状況(見込み)



★令和6年度は、参加者の保険加入費用を公費で負担

★地域クラブ数の増加に伴い、指導者人件費や保険加入費用等の支出増加が見込まれる

⇒ 参加世帯による経費負担や地域の企業との連携協力体制を検討する必要がある

国や県の補助がない場合、参加者一人当たり年間で30,000円程度の負担見込み

11 活動のバリエーションの検討

モデルケース1: 休日の活動(すべて)を地域クラブ活動(チーム型)へ



生徒・保護者とも負担が小さく
わかりやすい移行ケース

- ▲部活動に所属していない生徒は参加しにくい可能性
- ▲指導者が変わるによりチーム活動に影響
⇒指導者間の調整が必須

モデルケース2: 活動(一部)を地域クラブ(スクール型)活動へ

月に1回の休日の学校部活動を地域クラブ活動として実施
スクールなので気軽に参加・交流ができる
部活動ではなく、休日の活動への参加は強制ではない
参加生徒、指導者ともに休養日に設定できる

- ▲活動日や活動場所の周知
- ▲出欠の把握が煩雑に
⇒連絡ツール(有料)の検討



平日の学校部活動を地域クラブ活動として実施

- ▲活動場所の確保
- ▲活動時間の検討

★活動環境の整備と大会出場とは別々に検討した方がよいのではないかと

チーム型

- チームとして活動
- 参加者は限定的になる可能性
- 大会に地域クラブとして参加

★学校単位の部活動をそのまま移行することが可能

スクール型

- スクールとして活動
- 参加者は広範囲
- 大会は学校単位で参加

★スポーツ・文化活動場所の確保が可能

12

研修機会の確保

	主催団体	講師	内容	対象
部活動指導員等配置前研修	総社市教育委員会	推進室職員	指導者 ハラスメントの禁止 生徒理解 緊急対応	部活動指導員等
総社市地域クラブ指導者育成研修	(一社)アスリートキャリアセンター	原 晋氏 青山学院大学陸上競技部監督 萩原 聖人氏 青山学院大学陸上部トレーナー 大杉 柊平氏 アスリートキャリアセンター	組織マネジメント分野 チームマネジメント スポーツサイエンス分野	新任部活動指導員 地域指導者 希望者
吹奏楽指導者研修	ジャパンバンドクリニック	ジャパンバンドクリニック	吹奏楽指導 指揮法 指導法 機器利用法等	吹奏楽部指導者
その他	岡山県教育委員会 各競技団体			希望者

★令和6年度から、地域部活動指導者名簿登録者対象に指導者資格取得補助制度を実施
新規資格取得に係る費用について、受講費の1/2(上限20,000円)を補助する制度

13

経済的困窮世帯への支援スキーム確認

要保護世帯、準要保護世帯へ地域クラブ活動参加費を総社市(自治体)が支援する方法については、国や県の参加費負担支援等の動向を注視しながら検討中

支給対象を地域クラブ活動に参加する「要保護・準要保護認定者」生徒の世帯とした場合のスキーム(案)

参加世帯(保護者)



地域クラブ運営団体



総社市

保護者は、入会手続きとともに、参加費の補助金支援に必要な手続きの**委任及び照会の同意**に関する書類を**クラブ**に提出

クラブから総社市へ

- ① 要保護・準要保護世帯の照会
- ② 補助金申請

総社市からクラブへ

- ③ 交付決定、支払い

検討課題

- ① 対象となる補助金支援世帯
- ② 補助金の支援対象となる活動
 - ・年間登録費 + 参加費月額
 - ・大会参加費や必要物品、遠征費

※国や県の参加費負担支援等の動向

14 大会・コンクールへの参加機会確保